

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第15回）  
議事要旨

日時 2013年3月11日（月）10:00-12:50  
場所 日本学術会議 6-A（2）会議室（6階）  
出席者 荒川委員長、松沢副委員長、西尾幹事、岩本委員、大隅委員、樋口委員  
陪席 日本学術会議事務局（石原参事官、守屋事務官）

配布資料

- (1) 資料1 前回議事要旨（案）
- (2) 参考1 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（委員名簿）

議題

※公募状況および審査・評価に関する審議については非公開とすることが荒川委員長より提案され、了承された。

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認を行い、原案通りに了承された。

2) 経過報告

2月15日の公募開始以降の経過報告が荒川委員長よりなされた。

- ・公募開始以降、多くの分野において申請に向けた審議活動がさらに活発化しており、大きく盛り上がっている。
- ・日本学術会議にさまざまな質問が寄せられているが、そのほとんどが想定内の質問であり、特段回答に窮する状況ではない。

以上のような経過からも、公募は順調に推移していると考えられる。

3) 評価分科会の構成案について

分野（部）別大型研究計画評価分科会（以下、評価分科会）の構成について審議した。

- ・部長あるいは分野別委員会委員長に依頼した人選案をもとに、複数の評価分科会に所属している委員の個々のケースについて審議し、特段問題のないことを確認した。
- ・基礎医学分野の評価分科会の構成案は、大隅委員から口頭で報告があった。
- ・確認作業を経て、評価分科会の構成案について本委員会として了承した。その結果を各部の部長に上申し、各部長が精査した上で来たる3月22日の幹事会に上申し、幹事会で審議・承認されれば各評価分科会が正式に設置される運びとなる旨の説明が事務局からなされた。

4) 大型学術研究計画の審議・評価プロセスについて

大型学術研究計画の審議・評価プロセスについて審議した。

- ・評価分科会の委員長は、対応する部または分野別委員会の委員長を想定しているが、互選で選出することを明記することとした。
- ・評価結果をWEB入力することはシステムの制約もあり止めることとし、その代わりにExcel形式等の電子ファイルに入力し、日本学術会議事務局に提出することとした。
- ・スケジュール案については、種々議論の結果、以下のようにすることとした。
  - (ア) 4月22日 各評価分科会委員へ当該分野（部）の全提案を送付
  - (イ) 5月15日 各評価分科会委員からの評価結果の日本学術会議への提出の締切
  - (ウ) 6月14日 評価分科会委員長から本分科会への学術大型研究計画に関する報

告の締切。報告にあたり、必要であれば評価分科会を開催

(エ) 6月末 本分科会において学術大型研究計画を決定

なお、以上のスケジュールとも関連して、大型学術研究計画の審議・評価プロセスにおける事務局の体制を整えることの重要性が審議され、その対応を石原参事官に依頼することとした。

- ・各評価分科会委員による評価が開始される前に評価分科会を開催することの重要性を確認し、4月中旬以降、4月末迄を目途に各評価分科会の開催を要請することとした。なお、会議開催の日程調整の困難さを想定し、来る3月22日開催の幹事会で評価分科会の設置が承認され次第、各評価分科会委員長に日程調整に入っていただくべく依頼をすることとした。

5) マスタープラン 2014 FAQ について

現在までのFAQの作成、公開に関する経過説明が荒川委員長、松沢副委員長よりなされ、その後、追加して掲載する質問、回答について文案が検討された。

6) 今後の活動について

本委員会の当面の活動について議論を行い、次のように進めることとした。

- ・「審査・評価方法」を第164回総会資料として配布できるよう、資料の作成を鋭意進めることとした。
- ・次回の本分科会を第164回総会の第1日目の夕刻に開催することを確認した。

以上